

2013 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	東松山キャンパス運営委員会
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-4	成果
点検・評価項目(1)	4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
評価の視点	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-4-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習成果を測定するための評価指標の開発は行われていない。</li> <li>・3年ごとに実施される「1年生の生活と学習に関するアンケート」によって理解度を確認しているが、科目ごとの理解度は測定できていない。</li> </ul>
-------	--

【効果が上がっている事項】

4-4-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育で行っている体力診断テスト（前・後期各1回）のデータを整理したところ、後期の結果は前期に比較して各体力要素が向上している傾向がみられる。また学生のレポートからも、特に総合体育の授業を通じて他学部他学科の友人の数が増えた等、交友関係の改善にも寄与していることが伺われる。</li> </ul>
-------	---

【改善すべき事項】

4-4-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標に沿った成果を上げるためには、4-3-1 で述べたように、履修者数の上限を、教室の収容人数に合わせるのではなくて、教育効果が期待できる適正数に引き下げる必要がある。</li> <li>・学習成果を測定するための評価指標を開発する必要がある。</li> </ul>
-------	---

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

<p>2013 年度科目編成表</p> <p>2012 年度「1年生の生活と学習に関するアンケート」結果</p> <p>総合体育ガイドブック、体力診断テストのデータ、2年次のアンケート調査結果、保健体育分科会の議事録</p>
--

【2014 年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	4-1-1 学習成果を測定するための評価指標を開発し、運用する。	左記のことが実施されている。	→					
14 年度 目標	4-1-1 学習成果を測定するための評価指標の開発について、議論を開始する。	各分科会において議論が行われている。	→					